



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

10年後の事業の柱は何か

「経営者は10年先を見て手を打て！」とは名言です。目先の事で一喜一憂するのではなく、5年先、10年先を見据える目を養う。戦争の世紀だった20世紀は遠く過ぎ去り、21世紀に入って早くも20年近く経過しました。

その間、世界はめまぐるしく変化し続けています。そして、世界は確実に豊かになっています。その証拠に世界人口は増加の一途を辿り、今や75.4億人（2017年 世界銀行調査）まで増えました。1960年以降は12年ごとに10億人増加しています。

人口が増えれば世界経済も成長します。1998年の世界人口は60億人で、世界GDPは46兆\$、一人当たりGDPは7700\$でしたが、2015年の世界人口は73億人で世界GDPは76兆ドル、一人当たりGDPは10038\$に増加しました。人口は21%増加し、GDPは65%も増加しました。

世界経済が変化すると経済構造も変化し、既存勢力が淘汰され、新興勢力が勃興します。従来の価値観が陳腐化し新しい価値観が創造されます。

1998年という、PCが普及しインターネットが日常に浸透してきて、2007年には初代iPhoneが発売されました。いまやスマホの普及率（2018年）は先進国で76%、新興国で46%と高く、減少傾向にあるとはいえ毎年14億台が出荷されています。ネットでつながるサイバー社会は今後もますます広がります。

今後10年で大きな変化を迎えるであろう分野のキーワードをまとめると「DMETST」になります。Develop（建設）、Medical（医療・介護）、Environment（環境）、Technology（IT技術）、Space（宇宙）、Trench（深海）です。

世界中で国土開発が進み建設需要は高まる一方です。医療の南北格差は著しいですが、確実に向上しています。ネットの普及でIoTや自動運転、フィンテックの高度化はとどまるところを知りません。

世界を見て、日本を見て、業界を見る。業界から日本を見て世界を見ると判断を間違えます。なぜなら、黒船は必ず異業種からやってくるからです。同業者はライバルではありません。これから5年後、10年後には自動車は自動運転が普通になり、銀行は情報バンクに変わり、人間の仕事のいくつかはAI&ロボットがこなし、医療も精子トレーニングを施し、3世代を見据えた健康管理が当たり前になるでしょう。

様々な分野で意欲的な試みがなされています。多くの問題を抱えていますがキャッシュレス時代を背景に無人店舗は増えてゆくでしょう。ソフトバンクやテスラモーターが参入する宇宙ビジネスは花盛りです。世界で唯一の宇宙ゴミを掃除する日本の会社「アストロスケール社」の創業、東大阪の町工場が共同開発して宇宙に打ち上げた「まいど1号」、関東の中小企業のシンジケートが深海をビジネス領域に選んで開発した「江戸っ子1号」。

環境面でも世界各国の意識の高まりがすごく、マレーシアは流れ着いた違法なプラごみを排出した国に送り返す強硬手段に出ており、世界の廃プラ受入大国だった中国は廃プラの輸入を禁止しており、フィリピンでも同様の動きが出ています。日本では廃プラ処理の再構築が求められており、大きなビジネスチャンスが起きてきます。

日本では2020年の東京オリンピック、インバウンドの高まりに伴う施設整備、リニアモーター工事、IR事業の始まりで巨額の投資が続き、スーパーゼネコンの中には約5年分の受注残を抱

えている会社もありますが、長い目で見れば少子高齢化で人口が減少している日本では、建設の先行きはそれほど明るくはないでしょう。そうすれば開発ブームが世界中で起きているので、リスク覚悟で世界市場に参入するかどうか経営者の決断が問われます。

中小企業は、大企業と異なりナイナイづくしの経営が基本ですので、これから10年の変革に対して、経営者自らが、持てる経営資源を分析し、どの分野で生き残ってゆくのかを模索してゆくことです。M&Aもあれば新規事業の創業もあるでしょう。その時に大事なことは、「目に見えない財産を残せるか」が判断基準となります。即ち、人材です。

とにかく情報が多すぎます。しかも、玉石混交で、真偽錯綜しているため、知れば知るほど不安になり、知れば知るほどわからなくなる時代に生きています。このような時代こそ、志をもって、ビジョンを描き、それを信じて追及してゆくことが必要です。次の10年後は、どのような世界になっているかを考えるよりは、どのような自分になっていたいか、どのような会社を目指すのかを具体化することが大事だと考えます。

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014

那覇市松尾 1-18-22 8階

TEL098-864-0331

FAX098-860-3416

Email : mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478

京都市北区大宮釈迦谷 4-10

TEL075-334-5105

FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」
得意ワザ「見える化」技術
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！
お電話ください。 098-864-0331